

豊かな心の育成推進プラン

重点取組分野	具体的取組
豊かな心の育成	道徳の授業をはじめ各教科において話し合い活動を中心とした授業づくりを行うことを通して、他の人の考えや気持ちを想像したり、自分の考えや気持ちを伝えあい、わかり合うためのコミュニケーションに取り組んだりすることで、他の人との人間関係を調整する力を養い、他者の思いに寄り添う心情を育みます。
担当	生徒指導部

豊かな心に関わる本校の状況	今年度の目標
<p>(1) 生徒の実態 家庭の指導が行き届き、情緒的に安定している生徒が多いと思われる。半面、核家族が多く、家庭外で異年齢の他者とコミュニケーションを取ることが少なく、自ら地域に出て行って高齢の方と接したり、ボランティア活動に参加する生徒の数が少ない。</p> <p>(2) 学校の取り組み状況 職業講話、職業体験また地域ケアプラザ訪問などの行事により、いわゆる普段接する機会のない「大人」とコミュニケーションすることにより、自分とは異なる世代の考え方に触れ、視野をひろげる意図があった。コロナ禍のため、行事としてはすべてが中止になった。ケアプラザへ作品展示などで目には見えない交流を図ることは行えた。</p>	<p style="text-align: center; background-color: #ffff00;">目標を実現するための具体的行動プラン</p> <p>教員全体で、生徒が「語り合い」をする価値のある課題の設定方法を探り、それを授業に生かす。</p>
<div style="background-color: #ffff00; padding: 5px; width: 20px; margin: 0 auto;">上半期</div>	<p>職員の道徳アンケート結果をもとに、今年度も ① 全校道徳を縦割り式で実施する。それにより、他学年の意見を聞く機会を設ける計画である。 ② 夏休み明けの校内職員道徳研修で、「語り合い」にふさわしい課題をどうやって作成するかを、全職員で検討する。</p>
<div style="background-color: #ffff00; padding: 5px; width: 20px; margin: 0 auto;">下半期</div>	<p>前期の全校道徳の問題点を洗い出し、それを改善した上で、後期の全校道徳も縦割り式で行う。また、校内研修の実績を元に、日々の道徳を実践し、年度末の職員道徳アンケートに授業実践の問題点を記入し、問題点を明確化する。</p>